

## 令和2年度補助公共事業の内示状況について

## 【総括】

- 令和2年度の補助公共事業の内示状況については、9,891百万円となり、前年度の9,714百万円から178百万円の増で、対前年度比101.8%となった（D/B列）。農林水産省の一般公共事業予算の対前年度比は97.8%であり、これを上回る増となった。
- 令和元年度2月補正（国補正分）を含めた内示状況については、11,619百万円となり、前年度の10,010百万円から1,608百万円の増で、対前年度比116.1%となった（H/F列）。分野別では、農業農村・治山・造林は増加、漁場は減少、林道は同程度となった。

## 主な増減理由

## ≪農業農村：増加≫

- ・ため池の浸水想定区域図の作成等について、所要額が増加したため。

## ≪漁場：減少≫

- ・栽培漁業センターのエネルギー棟改修工事が令和元年度に完了したことに伴い、所要額が減少したため。

## ≪治山：増加≫

- ・平成30年7月豪雨災害の被災箇所における治山施設の整備を本格化させるにあたり、所要額が増加したため。

## ≪造林：増加≫

- ・県産材の安定的な生産体制の構築に向けた計画的な主伐・再造林、間伐に取り組むにあたり、所要額が増加したため。

- 事業の執行にあたっては、工事等における新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策を徹底しつつ、「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン」に掲げる事業に最優先で取り組むなど、計画的な執行に努める。

(単位：百万円)

区分	令和元年度当初			令和2年度当初			対前年度 内示額比較		令和元年度当初＋ 平成30年度2月補正（国補正分）			令和2年度当初＋ 令和元年度2月補正（国補正分）			対前年度 内示額比較		
	予算額	内示額	差引額	予算額	内示額	差引額	対前年 差引額	対 前年比	予算額	内示額	差引額	予算額	内示額	差引額	対前年 差引額	対 前年比	
	A	B	B-A	(※1) C	(※1) D	D-C	D-B	D/B	E	F	F-E	(※1) G	(※1) H	H-G	H-F	H/F	
農業農村	4,646	5,220	574	4,781	4,864	84	▲356	93.2%	5,220	5,451	231	6,137	6,220	83	769	114.1%	
漁場	244	322	78	223	198	▲25	▲124	61.6%	244	322	78	223	198	▲25	▲124	61.6%	
治山	2,310	2,354	44	3,331	3,247	▲85	893	137.9%	2,310	2,354	44	3,331	3,247	▲85	893	137.9%	
林道	1,195	1,139	▲56	929	920	▲9	▲219	80.8%	1,195	1,139	▲56	1,102	1,093	▲9	▲46	96.0%	
造林	650	679	29	679	662	▲17	▲17	97.4%	716	745	29	878	860	▲17	115	115.5%	
補助公共計	9,044	9,714	670	9,943	9,891	▲52	178	101.8%	9,683	10,010	327	11,672	11,619	▲53	1,608	116.1%	
(参考)	直轄治山	960	958	▲2	896	896	0	▲62	93.5%	960	958	▲2	1,687	1,687	0	729	176.1%
	合計	10,004	10,671	668	10,839	10,787	▲52	116	101.1%	10,643	10,968	325	13,358	13,305	▲53	2,337	121.3%

※1 H30年度からR1年度への繰越明許費のうち、未契約となった事業費のR2年度当初予算への振替分（予算額2,265百万円、内示額540百万円）を除く。

※2 単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。